

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・3学年・A～F組 理数科・3学年・G組 選択者
教科書	最新 情報の科学(実況出版)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

- ①コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組み、情報社会を支える情報技術の役割や影響について考え、情報社会に参画する態度を身につけます。
 ②問題解決においてコンピュータを効果的に活用する考え方を身につけます。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	導入	・コンピュータの利用	・コンピュータの使用方法（ユーザーID、パスワード、サインイン、サインアウトなど）を確認する。 ・授業開始時に練習する、タッチタイピングについて理解する。	行動観察
	5	第1章 情報とコンピュータ	1章1節「情報の表し方」	情報のデジタル化と、ビット・バイト、2進数・16進数について理解します。	行動観察 実習レポート 定期考査
	6	第3章 問題解決のためのとコンピュータ活用	3章3節「問題のモデル化」「シミュレーションの実行」 「演習課題」	モデル化とシミュレーションの意義、シミュレーションによる問題解決の手順について理解します。その後、実習を通じて、シミュレーションの準備と実行について理解します。 課題演習を通じて、モデル化とシミュレーションについての理解を深めます。	行動観察 課題作品 定期考査
	7		定期考査		
	9		3章2節「アルゴリズム」	問題解決の考え方と手順について考察し、フローチャートを理解します。	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	第3章 問題解決のため のコンピュータ活用	3章2節「アルゴリズム」	プログラム言語について理解します。 フローチャートを書きながらアルゴリズムについて理解し、プログラム言語を使って実行してみます。	行動観察 実習レポート 課題作品
	11		「演習課題」	課題演習を通じて、問題解決の考え方と手順についての理解を深めます。	
12	第4章 ネットワークとデータベースの活用				4章2節「データベース」 「演習課題」
1					

3 評価の観点

興味・関心・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの処理の仕方について関心があるか。 ・問題解決について、コンピュータを利用する考え方や方法に興味を持っているか。 ・情報社会を支える情報技術について関心があるか。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を順序よく考えることについて、適切な方法を選択できるか。 ・コンピュータを効果的に利用する方法について考えることができるか。 ・利用する人の立場でデータベースを設計し、より使いやすく改善できるか。
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・フローチャート・アルゴリズムについて理解し、プログラミングすることができるか。 ・データベースについて理解し、目的に合ったデータベースを設計することができるか。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決について考え、コンピュータを利用する方法について理解しているか。 ・データベースの扱い方について理解しているか。

4 評価の方法

興味・関心・態度・表現・技能、思考・判断・知識・理解の4観点から評価基準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・実習を多く取り入れた学習を行います。積極的に授業に取り組んでください。 ・コンピュータを使用するために必要な「ユーザーID」と「パスワード」は厳重に管理しましょう。 ・わからないことは放置しないで、遠慮せず質問し、その場で解決するようにしましょう。 ・機器の操作等に余裕がある人は、周囲の困っている人を積極的に援助してください。
--